

マーケティングエキスパート初級資格試験 例題

1. 下記の分析法で機器分析に含まれない分析はどれか。最も適切な解答の番号を一つ選べ。

1. 定性分析
2. 定量分析
3. 市場分析
4. 局所分析

2. 下記の文章の中で分析機器の装置としての特徴とはいえないのはどれか。最も適切な解答の番号を一つ選べ。

1. 生産財である
2. 保守サービスは必要としない
3. 設備として購入される
4. 設置場所に条件がつく場合がある

3. 次の文章の中で機器分析の顧客の特性に当てはまらないのはどれか。最も適切な解答の番号を一つ選べ。

1. 機器の購入の前には実際に機器を使用してデータをとることがある。
2. 大学等の公共機関では購入を入札で行うことがある。
3. 購入目的は企業の業績向上である。
4. 購入する装置は担当者の好みで決められる。

4. 生産財の中で分析機器のような設備に関する製品特性にあたらないのはどれか。最も適切な解答の番号を一つ選べ。

1. 高性能で高価格の製品である
2. 商業施設で展示販売する。
3. 受注生産品が多い。
4. 一度購入すると10年以上も継続して使用する場合がある。

5. 企業の購買プロセスの購買段階で調査する項目の中で実測のデータを必要とするところがあるのはどの項目か。最も適切な解答の番号を一つ選べ。

1. 装置の性能
2. 装置の構成
3. 該当する装置の納入実績
4. 当該企業の業績

6. 下記の文章で販売プロセスの納入段階で行うのはどれか。最も適切な解答の番号を一つ選べ。

1. 製品の仕様書と見積書を提出する
2. 製品の技術説明を行う
3. 製品の使用方法の説明を行う
4. 製品の使用状況を確認する

7. 分析のプロセスの中で、分析機器を用いてデータを得るプロセスはどれか。最も適切な解答の番号を一つ選べ。

- 1) サンプルング
- 2) 測定
- 3) レポートの作成
- 4) 前処理 (試料調製)

8. 容量モル濃度について正しい記述はどれか。その解答の番号を一つ選べ。

1. 溶液 1L に含まれる溶質の物質量
2. 溶媒 1kg に含まれる溶質の物質量
3. 溶液 100 g に含まれる溶質の質量
4. 溶液 1L に含まれる溶質の質量

9. 検量線法の目的として、最も適切な解答の番号を一つ選べ。

1. 標準試料の種類を特定するための分析手法である。
2. 標準試料の含有量を特定するための分析手法である。
3. 未知の測定物質の種類を特定するための分析手法である。
4. 未知量の測定物質の含有量を特定するための分析手法である。

10. 波長が 450nm の光は次のどの領域に属するか。最も適切な解答の番号を一つ選べ。

1. X 線
2. 紫外線
3. 可視光線
4. 赤外線

11. 主に分子分析に使用される分光法はどれか。最も適切な解答の番号を一つ選べ。

1. 蛍光 X 線法
2. 赤外分光法

3. ICP 発光分光法

4. 原子吸光法

1 2. ガスクロマトグラフィーでハイフネーション技術を用いて使う分析機器はどれか。最も適切な解答の番号を一つ選べ。

1. PH 計

2. 蛍光 X 線

3. 質量分析計

4. 蛍光検出器

1 3. 液体クロマトグラフィーの中でタンパク質の分離に利用されるモードはどれか。最も適切な解答の番号を一つ選べ。

1. サイズ排除クロマトグラフィー

2. 吸着クロマトグラフィー

3. 分配クロマトグラフィー

4. イオン交換クロマトグラフィー

1 4. 元素の周期表に関する記述のうち、誤っているものはどれか。最も適切な解答の番号を一つ選べ。

1. 原子番号の順に元素が並んでいる。

2. 原子の持つ電子の個数の順に元素が並んでいる。

3. 原子の持つ原子核中の陽子の個数の順に元素が並んでいる。

4. 原子の持つ陽子と中性子の数の和の順に元素が並んでいる。

1 5. 化合物は分子量から低分子化合物と高分子化合物に分類される。次の物質の中で低分子化合物に属するものはどれか。最も適切な解答の番号を一つ選べ。

1. たんぱく質

2. 石英

3. ポリエチレン

4. 硫化水素

正解 3. 2. 4. 2. 1. 3. 2. 4. 3. 2. 3. 1. 4. 4